



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587036901	科目番号	05870369
授業科目名	●教育と社会Ⅱ(教育相談)		
編集担当教員	谷口 弘一		
授業担当教員名(科目責任者)	谷口 弘一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	谷口 弘一		
科目分類	全学モジュールⅡ科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	taniguti@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館215番研究室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	毎週金曜日15:00～16:00		
授業の概要及び位置づけ	カウンセリングとソーシャルサポートを有機的に結びつけ、効果的な援助を提供する方法について理解すること。		
授業到達目標	フォーマルなサポートであるカウンセリングとインフォーマルなサポートであるソーシャルサポートについて説明できる（①, ②, ③, ⑤, ⑥, ⑦, ⑪, ⑫）。学校・家庭場面において、効果的な援助が提供できるようになる（①, ③, ④, ⑤, ⑩, ⑬）。		
授業方法（学習指導法）	主として、講義形式（視聴覚教材、心理尺度等の実習教材、プリントを適宜使用）で行う予定にしているが、心理アセスメントやグループワークなどを可能な限り多く取り入れ、アクティブラーニング形式となるようにしたいと考えている。		
授業内容	授業内容（概要） 心理的な悩みや困難を抱えた人に対する援助には、カウンセラーなど専門家によるサポートと親密な他者など非専門家によるサポートの二つが存在する。本講義では、カウンセリングとソーシャルサポートの理論、学校・家庭場面におけるカウンセリングとサポートの実践、カウンセリングとサポートの効果を抑制する要因などについて解説する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	カウンセリングとは何か：定義・歴史・効用	
	3	カウンセリングとパーソナリティ	
	4	カウンセリングの理論と技法(1)：クライアント中心療法	
	5	カウンセリングの理論と技法(2)：行動療法	
	6	カウンセリングの理論と技法(3)：認知行動療法	
	7	カウンセリングの理論と技法(4)：精神分析療法	

	8	カウンセリングと心理アセスメント(1)：知能検査
	9	カウンセリングと心理アセスメント(2)：性格検査
	10	カウンセリングと心理アセスメント(3)：職業適性検査
	11	カウンセリングとサポート活動
	12	ソーシャルサポートとは何か：理論的導入
	13	ソーシャルサポートと発達
	14	学校・家庭場面におけるカウンセリングとソーシャルサポート
	15	カウンセリングとソーシャルサポートの抑制要因
	16	定期試験
キーワード	カウンセリング， 心理アセスメント， ソーシャルサポート， グループワーク	
教科書・教材・参考書	カウンセリングとソーシャルサポートーつながり支えあう心理学ー ナカニシヤ出版	
成績評価の方法・基準等	期末試験50％ 発表・討論・実習への貢献30％ 課題レポート20％ この他に、授業で募集する実験や調査などへの参加による学習、もしくはそれに替わる課題なども評価に加味する。 合格基準は全体評価の60％以上	
受講要件（履修条件）	授業外学習（週平均約2時間）	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	可能な限りアクティブラーニング形式となるようにしたいと考えているので、学生諸君の積極的な授業参加を期待している。 予習・復習では、教科書はもとより、新聞、インターネット、専門書、学術論文など多くの情報源に当たって、講義内容に関する理解をさらに深めてほしい。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587036902	科目番号	05870369
授業科目名	●教育と社会Ⅱ(教育相談)		
編集担当教員	内野 成美		
授業担当教員名(科目責任者)	内野 成美		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	内野 成美		
科目分類	全学モジュールII科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	2年		
担当教員Eメールアドレス	soudan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後に講義室で受付ける		
授業の概要及び位置づけ	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につける。		
授業到達目標	○教育相談の意義や役割について説明することができる ○実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 ○相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
授業方法（学習指導法）	講義・演習(個人及びグループ)		
授業内容	第1回 教育相談の意義について学ぶ 第2回 教育相談と生徒指導の領域について学ぶ 第3回 児童生徒理解の領域について学ぶ 第4回 児童生徒理解の方法について学ぶ 第5回 カウンセリングの基本技法について学ぶ 第6回 カウンセリングの基本技法を体験する 第7回 不登校児童生徒への理解について学ぶ 第8回 不登校児童生徒への対応について学ぶ 第9回 発達障害の児童生徒への理解について学ぶ 第10回 発達障害の児童生徒への対応について学ぶ 第11回 いじめ問題について学ぶ 第12回 学級崩壊の問題について学ぶ 第13回 危機介入について学ぶ 第14回 学級集団への援助の方法について学ぶ 第15回 学級集団への援助の方法を体験する 第16回 授業の総括（まとめ、試験を含む）		

キーワード	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング
教科書・教材・参考書	参考書： 教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化
成績評価の方法・基準等	定期試験（４０％） レポート（４０％） 授業への参加度・貢献度（２０％） 合計６０％以上を合格とする。
受講要件（履修条件）	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望む。
備考（URL）	
学生へのメッセージ	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布する。





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587037301	科目番号	05870373
授業科目名	●教育と社会II(文学と社会)		
編集担当教員	堀井 健一		
授業担当教員名(科目責任者)	堀井 健一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	堀井 健一		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）	「教育と社会II」2年生		
担当教員Eメールアドレス	pericles_kh@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	教育学部本館6階611番研究室		
担当教員TEL	pericles_kh@yahoo.co.jp		
担当教員オフィスアワー	火曜日午後		
授業の概要及び位置づけ	主題は西洋の古代ギリシアの歴史です。教養としての古代ギリシアの社会についての知識を学びます。外国の歴史を学ぶのは外国語文献を読むことから始まりま すから、皆さんには英語の絵本のようなものを翻訳してもらいます。その作業によって「知ること」に対する態度を養います。翻訳で内容を理解した上で古代ギリシアの社会の特徴を学びます。		
授業到達目標	西洋の古代ギリシアの歴史，社会，文化の特徴を説明できるようにする。英語による歴史叙述を日本語で伝達できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	英文翻訳の予習，翻訳文の完成のためのグループディスカッション，古代ギリシア社会の考察を行ないます。		
授業内容	S. Peach & A. Millard, The Greeks, Tulsa, 1990のイラスト世界史のシリーズ本を題材に使います。あらかじめ課題プリントを配布するので翻訳と下調べの予習をしてもらいます。予習の内容を講義時にグループディスカッションしたりクラスで発表してもらいます。5つの主題についてレポートを提出してもらいます。 第1回 ガイダンス 第2回 Social structure～翻訳の検討 第3回 社会階層のまとめ 第4回 Democracy in Athens～翻訳の検討1 第5回 Democracy in Athens～翻訳の検討2 第6回 アテネ民主政のまとめ1 第7回 アテネ民主政のまとめ2 第8回 Sculpture～翻訳の検討 第9回 ギリシア彫刻の特徴 第10回 The theatre～翻訳の検討 第11回 ギリシア劇の特徴1 第12回 ギリシア劇の特徴2 第13回 Learning～翻訳の検討 第14回 小テスト，学問のまとめ		

	第15回 古代ギリシア社会についてディスカッション
キーワード	西洋史, 古代社会
教科書・教材・参考書	教科書：P. レベック『ギリシア文明―神話から都市国家へ』創元社。参考書：伊藤貞夫『古代ギリシアの歴史』講談社, 山本茂他『西洋の歴史〔古代・中世編〕』ミネルヴァ書房, N. スパイヴィ『ギリシア美術』岩波書店。
成績評価の方法・基準等	古代ギリシアに関する教養的知識の小テスト（40％）, レポート（50％）, 授業中の課題への良い取り組みや良い発言（10％）
受講要件（履修条件）	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、やむを得ず（正当な理由で）欠席する場合は、単元に応じた個別指導を行なう。授業外学習に週平均2時間以上を充てること。
備考（URL）	
学生へのメッセージ	初回に予習の仕方について案内文書を通じて示すので、それに従って予習をすること。





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅡ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587037701	科目番号	05870377
授業科目名	●教育と社会Ⅱ(身のまわりの科学)		
編集担当教員	福山 隆雄		
授業担当教員名(科目責任者)	福山 隆雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	福山 隆雄		
科目分類	全学モジュールⅡ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	fukuyama-takao@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部414		
担当教員TEL	095-819-2337		
担当教員オフィスアワー	月曜日 6 校時目, 研究室にて		
授業の概要及び位置づけ	私たちは、日常生活において当たりまえのように科学の産物を享受しているにもかかわらず、それらを科学的に考える機会は少ない。 ミクロからマクロまで広がる科学的な視野をもって、私たちの日常生活と自然科学との関わりを見つめなおして理解することを、本授業のねらいとする。		
授業到達目標	以下を本授業の到達目標とする。 ①知識・思考 ・日常生活と先端科学は、かい離したものではなく密着したものだという認識ができる。 ②技能・表現 ・日常生活と先端科学の関係について、他者に自分の言葉でわかりやすく説明できる。		
授業方法（学習指導法）	身のまわり科学について、“エネルギー”、“宇宙・素粒子”、“カオス”に関する各視点から、講義と演習を中心としてアプローチを行う。 必要に応じて、ビデオ、実験等を取り入れながら、授業を進める。		
	下記スケジュールは、進度により変更を加える可能性がある。出張等でやむを得ず休講になった場合は補講を行う。 “宇宙・素粒子・相対性理論”では、ビデオを用いながら授業を行う。 “カオスⅠ～Ⅳ”の授業では、各自電卓を持参すること（電卓機能付きの携帯電話でも可）。		
	回	内容	
	1	ガイダンス：科学の世界への誘い	
	2	エネルギーⅠ：運動の法則	
	3	エネルギーⅡ：位置エネルギーと運動エネルギー	
	4	エネルギーⅢ：電気エネルギー	
	5	エネルギーⅣ：温度と熱	
	6	エネルギーⅤ：熱力学の法則	

授業内容	7	エネルギーⅥ：科学工作（エネルギー変換）
	8	宇宙・素粒子・相対性理論Ⅰ：アインシュタインの世界
	9	宇宙・素粒子・相対性理論Ⅱ：宇宙の最小単位は？
	10	宇宙・素粒子・相対性理論Ⅲ：地球外生命の探索
	11	宇宙・素粒子・相対性理論Ⅳ：宇宙の果てを求めて
	12	カオスⅠ：自然界におけるカオス
	13	カオスⅡ：初期値敏感性
	14	カオスⅢ：電卓でカオスを体験しよう
	15	カオスⅣ：カオスの性質
	16	授業のまとめ
キーワード	エネルギー，宇宙，素粒子，相対性理論，カオス，探究学習	
教科書・教材・参考書	必要な資料は配布します。参考図書は，授業中に適宜紹介します。	
成績評価の方法・基準等	ミニレポート（授業への取り組み）：40％，レポート（テーマ指定および問題演習など）×3回程度：60％により，評価する。 全体の3分の1以上を欠席した場合は自動的に失格とする。授業開始時には，毎回出席をとる。 2回遅刻＝1回欠席，として換算する。	
受講要件（履修条件）	自然科学について勉強したい，という意志を持っていること。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	学校教員になるために自然科学の教養を身につけておきたい，という意志のある学生を歓迎します。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587038101	科目番号	05870381
授業科目名	●教育と社会II(芸術)		
編集担当教員	中川 泰		
授業担当教員名(科目責任者)	中川 泰		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中川 泰		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス	nakagawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部美術技術教室209-1		
担当教員TEL	095-819-2351		
担当教員オフィスアワー	月12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ	○美術における表現の喜びや感動を学ぶ ○全学モジュール科目「13-04教育と社会」の選択科目(モジュールII)		
授業到達目標	1.日常的な縛りから開放される人間の意義を説明できる 2.身近な環境との出会いや交流を実現することができる 3.制作を通して自由な発想と多様な表現方法を獲得する		
授業方法（学習指導法）	○表現と鑑賞の相互関係を基にし、実技を絡めながらの講義形式で行う ○実技については個人制作、グループに分かれての共同制作も実施する		
授業内容	回	内容	
	1	美術表現の意義と役割	
	2	美術表現の原点	
	3	現代美術の魅力	
	4	非現実的キャラクター（1）	
	5	非現実的キャラクター（2）	
	6	非現実的キャラクター（3）	
	7	作品鑑賞（1）	
	8	デジカメアート（1）	
	9	デジカメアート（2）	
	10	デジカメアート（3）	
	11	作品鑑賞（2）	
	12	コラージュによる不思議な世界（1）	

	13	コラージュによる不思議な世界（2）
	14	コラージュによる不思議な世界（3）
	15	美術の可能性を求めて
	16	
キーワード	現代美術、デザイン、創造、セルフエスティーム	
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない 参考書については適宜紹介する	
成績評価の方法・基準等	提出物〔作品〕（40％）、提出物〔レポート〕（30％）、受講態度〔積極的な参加〕（30％）	
受講要件（履修条件）	実技を実施するので定員は50名以内 ①原則として全回出席することを単位認定の要件とする ②問題意識をもって受講して欲しい ③材料用具は個人負担であり、準備物は不可欠である。また、制作に必要な時間には個人差があり、作品完成のために時間外での制作が必要である	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	準備・事前学習 ○美術に関心をもち、楽しみながら学ぶ習慣を日頃からつけておくこと ○授業のなかで適宜、具体的な内容について指示する	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587038501	科目番号	05870385
授業科目名	●教育と社会II(環境と社会)		
編集担当教員	藤本 登		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 登		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 登		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	n-fuji@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部技術美術教棟115室		
担当教員TEL	095-819-2360		
担当教員オフィスアワー	8:00-8:45、昼休み		
授業の概要及び位置づけ	地球環境問題やエネルギー問題など現代社会が抱える問題について、個人の価値観のみならず、社会的な意志決定の方法や課題を認識し、個人の有り様を問い直す講義である。		
授業到達目標	環境やエネルギー問題に対して、自ら課題を認識し、社会で変革するための手法を説明できる。また、その変革に関わるための態度や実践力を養い、持続可能な社会作りに貢献するための自身の役割を説明できる。		
授業方法（学習指導法）	一般的な講義と参加型・体験型学習を織り交ぜながら実施します。また個人ワークと班ワークでの活動があります。そして適宜出される課題や自ら設定した課題を行ってもらいます。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション（目的、学習方法、ルールなど） アイスブレーキング	
	2	持続可能な社会を目指して！ 地球環境問題と私たちの暮らし （自宅の電力・水・ガスの消費量を調べてくること）	
	3	地球環境問題と私たちの社会	
	4	地球温暖化（科学的な思考）	
	5	地球温暖化と社会・個人（対策の検討）	
	6	地球温暖化と社会・個人（実践の検討）	
	7	ごみと社会	
	8	水と社会	
	9	大気汚染と社会	
	10	エネルギー問題の最新動向（世界）	

	11	エネルギー問題の最新動向（日本）
	12	これからのエネルギー社会を考える
	13	未来の発電構成を考える
	14	放射性廃棄物を考える
	15	総合討論・持続可能な社会と私
	16	
キーワード	環境問題、エネルギー問題、ガバナンス、価値観、意志決定	
教科書・教材・参考書	参考書：環境白書，エネルギー白書，刀根薫「ゲーム感覚意思決定法 AHP入門」など、講義資料はLACSに掲載します。	
成績評価の方法・基準等	各課題の評価（50%） 最終レポート・発表（30%） 講義におけるディスカッション等での貢献度（20%）	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		

